

## ●今後の進め方

リニアまちづくり構想は、平成26年度から策定を開始する次期総合計画へ反映させ、具体化していきます。

リニア中央新幹線の整備は、地域経済に飛躍的な発展をもたらすことが期待されますが、一方で、軌道の周辺地域では、騒音や振動、地下水への影響など様々な懸念もあります。

リニアの開業効果をまちづくりに活かす取り組みは、その場面によって産・民・官がそれぞれ主体的に、かつ連携を取りながら進めることとなります。

関係機関との調整や事業に伴う不安などの相談窓口は、市建設部リニアまちづくり課が当たり、関係部局からなる市リニアまちづくり推進本部で総合的な調整を図り進めます。

また、今後、事業が進行していく中で、各種団体、関係機関等との横断的な体制が必要になった段階で、新たな組織づくりの検討を行います。

